

我らがシマシマ博物館 マヤと年縞のほんまヤバイ関係



7万年分4.5mの年縞ステンダグラスが一直線にならんだギャラリー

マヤの年縞を探る大冒険は、古気候学者の北場育子さんと中川毅さんを中心とする調査隊によって始まった。年縞が形成される湖には水深や湖底の酸素濃度などいくつもの条件がそろって必要がある。調査隊はグーグルマップでアタリをつけその湖を目指した。草むらに棲む毒ヘビやワニの巣を警戒しながら慎重に進み、ゴムボートで湖へ漕ぎ出す。そしてようやく湖底に穴を掘る。何度か湖底を掘りまくるが、マヤ時代の年縞はそう簡単に見つからない……

三方湖の畔、木造の大きな三角屋根が印象的な福井県年縞博物館。「歴史のものさし」として世界から注目を集める水月湖の年縞が展示されている。その年縞博物館で昨年8月から12月にかけて特別展「マヤの年縞をめぐる冒険2021」が開催された。最終日は調査隊の北場育子さん、中川毅さんのガイドツアーが行われた。マヤ文明と年縞にどんな関係があるの？と疑問を抱きながら雪の降り積もる博物館を訪ねたのであった。



特別展のパンフレット

マヤ文明と年縞

マヤ文明は紀元前1000年〜紀元後1600年代(日本の縄文・弥生時代〜江戸時代)まで中米で栄えた古代文明。マヤ人はジャングルからサバンナまで様々な環境に適応して暮らしていった。マヤ文字や正確な暦、高度な数学など史上まれに見る文化を発展させた。そんな優れたマヤ文明が幾度も衰退を繰り返したのにはなぜか過去の地球の姿を調べていけばその謎を解明できるかもしれない。そこで役に立つのが年縞だ。ご存じのとおり水月湖には正確な年代の分かっている年縞があるが、中米とでは大気の状態が違うため、水月湖の年縞をそのまま利用することができない。現地年縞を見つけたら、マヤ時代の年縞をより正確に分析して見たい……

マヤの年縞を探せ

この大発見でマヤ文明の黎明期、衰退期、マヤ人が経験した気候変動や暮らしが明らかになってきた。今回の特別展の展示資料は北場さんたちの旅の成果の結晶ともいえる。しかし、北場さんたちの挑戦はまだ終わっていない。採取された年縞を更に細かく分析し、まだ謎をひも解いてゆく。

奇跡の湖との出会い

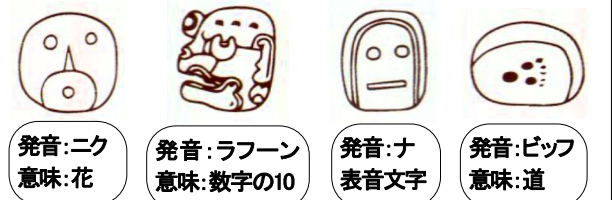
調査をはじめた三年。北場さんたちはついに「奇跡の湖」との出会いを果たす。その湖こそ、サン・クラウディオ湖だ。出会いから一年後、再び調査のためにメキシコを訪れた。しかし空港の手違いで年縞を掘る特殊な道具が届かなかった。現地材料を買って代用品を急遽自作し年縞を掘ることに成功した。翌年には本格掘削し、六、五メートルの年縞が採れた。不安と期待を胸に日本へ持ち帰り分析すると五千年分ということが判明し、それは間違いなくマヤの時代をカバーする年縞だった。



採れたマヤの年縞写真提供：北場さん

マヤ文字紹介

マヤ文明には独自の文字「マヤ文字」が存在していました。文字の種類は四万字を超え、独特のかわいい雰囲気は人々を惹きつけています。今回は新聞部部長のおすすめ文字を紹介しますよ！



ドレスデン絵文書
→
歴史や宗教のことについてマヤ文字で記されている



世界標準 水月湖の年縞

年縞とは

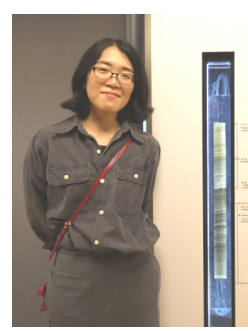
年縞とは湖の底に積もった泥がシマシマ模様を成したもので、一年に一層ずつできてゆく。水月湖には約七千年前から積み重ねられた年縞が静かに眠っている。これは非常に希なことで、「奇跡の湖」と呼ばれる所以だ。含まれる葉っぱや花粉の化石からは時代ごとの景色を知ることができ、ため多くの研究者が注目している。水月湖では一九九一年に年縞が確認されてから四回の本格的なボーリング調査が実施された。多くの苦難に二〇一二年、放射性炭素年代の校正のためのデータセット「ITCAG-1(イントカール)」に水月湖年縞データが採用され、水月湖の年縞は「世界標準のものさし」の地位を得た。

年縞博物館の魅力

二〇一八年九月に開館して以来多くの人が訪れる人気の博物館。丘に橋が架かったような伸びやかな外観は風景に溶け込み近づくにはいらぬ。高床式の構造は湖が増水した際に展示物を守るために入館するとまず一階の「年縞シアター」へ。円筒形の壁と床に臨場感たっぷりのアニメーションが映し出され来館者を歴史の旅へいざなう。二階ではナビゲーターが分かりやすく解説してくれて楽しめる。圧巻は七万年分四十五メートルの年縞を本物のステンダグラスにして展示したギャラリーだ。それからは積み重なった時間の長さを感じてほしい。

自分の好きなことに素直に 北場育子さん

北場さんは三十六歳にして立命館大学の古気候学の准教授を務め、マヤ文明の盛衰と気候変動の関係を解き明かすために日々奔走している。「そんな北場さんの印象は、とにかく楽しそうに話をしてくれる。インタビューをしていると、こちらの質問に「それはですね!」と笑みを浮かべながら答えを返してくれる。どんな新しい話題が出てきても私たちが話にのめり込んでしまった。北場さんがこんな風に楽しそうに話しているのは、自分の好きなことに忠実に動いているからだと思う。しかし、北場さんは高校時代に不登校になっていた時期があったという。「生きていくのが楽しかった。今の姿からはとても想像できない。だが、そんな暗い



時間が研究者の道を選ぶきっかけになったと北場さんは語る。一度周りの環境から切り離されたことで良い意味で思い切りとができたからだ。自分の好きなこと、興味のあることをゆとりと振り向き、再度勉強して大学進学することを決めた。その過去の経験から、一週間の大人の意見に流されすぎないように「私も語る。自分の楽しいと思つたことを愚直に続けていくことは時にとても難しいことだ。しかし同時にとても素晴らしいことではないだろうか。」

美方高校ライブラリーに年縞コーナー

今回参考にした年縞博物館に関する資料や特別展のパンフレットを並べました。見に来てね!



編集後記

百五十七号の発行にあたり多くの方に協力していただきありがとうございます。この度退職される先生方、長い教職員生活お疲れさまでした。そして三年生の皆さんへ卒業おめでとうです。三年生はいつか後輩を引っ張ってくださいますように。私たちが頼られるいい先輩になりましょう。また、年縞博物館は関わる方々の熱意を知ることができ貴重な体験になりました。これからも出合いを大切にし高校生という人生に一度の時間を精一杯楽しみたいと思います。



自作の道具で採取成功 中川毅さん 写真提供：北場さん



取材を受けてくださった皆様の年縞ポーズ! カフェ「縞」オーナー 藤本よしこさん、年縞博物館主任 伊戸崇さん、マヤ年縞チーム隊長 北場育子さん、ゆるかわデザイナー 大谷直子さん

美方高校生の真相を明らかに 意・識・調・査

今回は美方高校の一年生二百七十四人に対して校勢調査を行った。校勢調査とは国勢調査に似て、美方高校に在籍する生徒の実態を調査し、より良い学校生活を皆で創り出すことを狙ったものだ。質問は五つ。回答率は五十六%(百五十七名)。

問Ⅰ 学校で一番落ち着く場所は? 一位 教室(六十四%) 二位 図書室(十三・七%) 三位 玄関(四・三%) 四位 友達のいる教室や静かな図書室(二・七%) 五位 図書室(二・三%) 問Ⅱ 友達と過ごす場所は? 一位 教室(六十四%) 二位 図書室(十三・七%) 三位 玄関(四・三%) 四位 友達のいる教室や静かな図書室(二・七%) 五位 図書室(二・三%) 問Ⅲ 授業で取り入れてほしいことは? 一位 先生の話スピードが速すぎない(三十三・七%) 二位 先生の話スピードが速すぎない(三十三・七%) 三位 先生の話スピードが速すぎない(三十三・七%) 四位 先生の話スピードが速すぎない(三十三・七%) 五位 先生の話スピードが速すぎない(三十三・七%)

なるため鍛えていけるといい。他にはクイズ形式の授業、復習や質問の時間などがあった。問Ⅳ 授業で改善してほしいことは? 一位 先生の話スピードが速すぎない(三十三・七%) 二位 先生の話スピードが速すぎない(三十三・七%) 三位 先生の話スピードが速すぎない(三十三・七%) 四位 先生の話スピードが速すぎない(三十三・七%) 五位 先生の話スピードが速すぎない(三十三・七%)

美方高校A to Z

- 先日生徒の皆さんに協力してもらったアンケートの結果、美方高校を表す皆さんのワードが集まりました。「こんな魅力があったらな〜」と改めて気がつくかもしません。
- A あいさつ Aisatsu
- B ブルー Blue
- C 協力 Cooperation
- D 突進 Dash
- E 駅近 Ekichika
- F 食物料 Food
- G ガールズ多め Girls
- H 丘の上 Hill
- I 愛 Love
- J 日本一 Japan
- K 親切 Kind
- L 生活情報科 Life
- M 三方五湖 Mikatagoko
- N 自然 Nature
- O 小浜線 Obamasen
- P 梅 Plum
- Q 探究 Quest
- R 漕ぐ Rowing
- S 資格 Shikaku
- T ツバメ Tubame
- U 制服 Uniform
- V 文武両道 Vunburyoudou
- W 笑い www
- X 交流 X(kakeru)
- Y 分岐点 Y(wakaremichi)
- Z パン自販機 Zihanki

タブレットを使った授業の様子

